

北アルプス広域連合

■北アルプス広域連合広報紙 ■2026年3月31日発行
■北アルプス広域連合 ■長野県大町市大町1058-33
北アルプス市町村会館内 Tel.0261-22-6764
E-mail : kitaalps@kita-alps.omachi.nagano.jp

●大町市 ●池田町 ●松川村 ●白馬村 ●小谷村

北アルプス遊・交・学

[http:// www.kita-alps.omachi.nagano.jp/](http://www.kita-alps.omachi.nagano.jp/)

vol.93



池田町・陸郷 ^{ゆめのさと} 夢の郷

池田町・陸郷 ^{おうせんきょう} 桜仙峡

池田町の陸郷地区に広がる「^{おうせんきょう}桜仙峡」は、一目二千本の山桜が山肌を淡く染め上げる絶景スポットです。例年4月中旬に見頃を迎えると、一本ごとに開花時期や色味が異なる山桜が、ピンクや若葉の緑が入り混じる柔らかなパッチワークのように山全体を描き出します。この景観は、小鳥がついばみ広げたとされています。地元の「登波離橋愛護会」の方々が、`桜がきれいに咲きますように、と冬の鳥追い行事を行い、周囲の草刈り、駐車場の整備などを通じて、今も大切に守り続けています。自然の生命力と里山の温かさが織りなす風景は、まさに現代の桃源郷のようです。残雪輝く北アルプスを背景にした、この時期だけの特別な色彩は圧巻です。周辺には散策コースも整備されています。小鳥たちのさえずりに癒やされながら、思い思いの楽しみ方で春の山桜を満喫してみませんか。



^{おうせんきょう てんくう} 桜仙峡 天空のスポット

人口と世帯 北アルプス広域圏

(令和8年2月1日現在 長野県調べ)

人口 **54,776人**
世帯数 **25,206世帯**

主な内容

- 広域連合議会11月・2月定例会
- 令和8年度予算について
- 広域連合からのお知らせ
- 北アルプスエリアイベントカレンダー

議会

11月定例会開催

令和7年11月14日に11月定例会が開催されました。

11月定例会では事件案件1件、条例案件1件、予算案件4件の計6件の議案が上程され、いずれも原案のとおり可決されました。

工事請負契約の締結について

▼大町市グリーンパーク第3期工事の請負契約の締結
予定価格が1億5千万円以上の工事請負契約のため、契約締結には議会の議決が必要となるため。

条例の制定・改正について

次の条例の一部を改定しました。
▼北アルプス広域連合火災予防条例の一部を改正する条例制定について

令和7年度補正予算について

人事異動等、職員配置の変更に伴う人件費の調整のほか、主なものは次のとおりです。
▼一般会計(第2号)
大町市グリーンパーク第3期工事施工監理業務の内容変更に伴う債務負担行為の増
▼介護老人保健施設事業特別会計(第2号)
▼介護保険事業特別会計(第2号)
▼老人福祉施設等事業特別会計(第2号)

問

ごみ処理に対する圏域住民の理解はどのように周知しているのか。

答

住民の一人ひとりが、ごみの種類や分別ルール、また環境への影響を正しく理解することは、将来的なごみの減量化と資源化の推進にもつながるものであり、地域社会の環境意識の向上に直結するものと考えている。広域連合としては、現在、3市村において、分別ルールの確認と分別品目の見直しを進めており、今後作成するパンフレット等を通じて周知、啓発に努めていく。

また、北アルプスエコパークにおいては、3市村の担当者立会いの下で、月1回の廃棄物の展開検査を実施しており、不適切な分別が見受けられた場合には、その場で指導を徹底するとともに、持ち帰っていただくようお願いしている。



こうした取組みを通じて、ごみを排出される住民の皆様
の意識向上
と、適正な
分別の定着
に力を尽く
していく。

一般質問(要旨・抜粋)

丸山 和之議員(白馬村)

ごみ処理の再資源化と減量について

問

生ごみの堆肥化推進について。

答

生ごみの処理は、一般廃棄物処理業務として市町村が担当するものであり、市町村による分別収集や運搬方法の検討が必要であるほか、近接の地域内で、堆肥化の処理施設を確保することも不可欠であることから、広域全体での収集・処理を進めるには、こうした課題の整理が必要であり、現時点での実施は難しいものと考えている。
しかし、生ごみの堆肥化はごみの減量化対策の一つとして、極めて有効な方策であり、今後、関係3市村と連携し研究したいと考えている。
なお、大町市、白馬村、小谷村においては、生ごみ処理機や、コンポストの購入に対する補助制度を設け普及を図っており、住民の皆様にはこの制度を活用いただくとともに、広域連合としても引き続き家庭における生ごみの排出削減に協力いただくよう、啓発に努めていく。

服部 久子議員(池田町)

虹の家について

問

虹の家存続を求める陳情の採択を受けて理事者の考えは。

答

提出された陳情の要旨には、虹の家を守る会による署名活動を通じて、3,500筆を超える署名が寄せられたと記されており、利用者やその御家族、関係者など、地域の皆様の思いが反映したものと受け止めている。広域連合としては、地域住民の声を真摯に受け止めつつ、介護を含む今後の高齢者福祉のあり方を、地域全体の視点から再考する必要があるものと考えている。

一方で、今後一層進行する人口減少・人口構成の変化に対応し、地域における適切な行政サービス水準と、提供体制を維持することが求められる中、当広域連合での理事者の協議においては、構成市町村の財政状況等を踏まえ、今後も相当の額が不足することが想定される虹の家の運営費を、構成市町村が継続的に負担し続けることは極めて困難であるとの結論に至っている。

その一環として、持続可能な運営体制を確保するため、老人保健施設の民間移管等、あらゆる可能性について検討を進め、地域の医療機関や介護事業者と一層の連携を図り、地域の高齢者が、住み慣れた環境の中で、安心して暮らしていく体制づくりを引き続き模索していく。

問

白馬リサイクルプラザの利用状況は。

答

本年4月から供用を開始した白馬リサイクルプラザの機能については、館内に常設している「リユースひろば」にて、家庭で不要となった衣類や食器など、まだ使えるもので使わなくなった物や、子ども用品などのリユース品を募り、次に使う方が無料で自由に持ち帰ることができることになっている。

このほか、リデュース、リユース、リサイクルの3Rに関する展示とともに、主に白馬村における資源物の分別方法を紹介する動画等を放映し、環境意識の醸成に努めている。
4月から10月までの7か月間における「リユースひろば」の利用者数は延べ1,393人となり、寄せられたリサイクル品は7,460点で、持ち帰られた品は5,394点となっている一方で、研修室の利用状況については、これまで会議での利用が1件に留まっている。

なお、白馬リサイクルプラザは、国の循環型社会形成推進交付金を活用して整備した施設であり、フリーマーケットやバザー等の収益を伴う活動については、交付金要綱の趣旨にそぐわないことから建物内での開催はできないことになっている。

こうしたイベントを行う場合には、敷地北側のスペースを利用いただくように案内している。

介護保険について

問

介護保険料の今後の見通しは。

答

第9期介護保険事業計画における試算によると、令和27年度の標準保険料月額額は、8,000円に迫る水準になるものと推計している。この金額は、将来の給付費の見込みと、第1号被保険者数の推計とのバランスに基づいて算出したものであり、介護保険制度に係る国、県、市町村による公費負担や第2号被保険者による負担は、現行の水準を所与のものとして推計している。

このうち、公費負担の拡充については、現在、国において、社会保障全般にわたる総合的な検討が進められており、年齢に関わらず全ての国民が、その能力に応じて必要な保障を公平に受けられる社会を目指す、全世代型社会保障の実現に向けた議論が行われている。

広域連合としては、国における検討の動向を引き続き注視するとともに、公費負担割合のあり方についても、既に全国市長会や全国町村会、当広域連合が加盟している全国介護保険広域化推進会議等を通じて、被保険者の負担が過重とならないよう、負担能力に応じてより一層公平な制度となるよう、国に強く求めている。

今後も保険者としての立場から介護保険制度の持続可能性と公平性の両立を図るため、関係機関、団体を通じて積極的、かつ継続的に国に対する要望活動に力を尽くしていく。

問

介護職員の配置の現状は。

答

当圏域内の介護事業所における職員配置の状況については、第10期介護保険事業計画の策定に向けた、事業所アンケート等を通じ、実態把握を進めているが、各事業所とも法令で定められた人員配置の基準を満たしているものと認識している。

しかし、実働職員数の確保が難しいことから、受け入れ可能な利用者数を調整せざるを得ない事業所も見受けられている。圏域内のデイサービス事業所及び訪問入浴事業所では、それぞれ1か所ずつ、人材の不足により休廃止している実状もある。

こうした状況を踏まえ、県では、福祉・介護人材の確保に向けて、新規資格取得への支援や有資格者と事業所のマッチングなど、様々な取り組みを進めている。広域連合においても、県の施策を広く周知するため、介護保険広報紙「井戸端かいご」において情報の発信に努めており、併せて、介護サービスの需要が逼迫しないよう、介護予防事業の充実や、地域における支え合い活動の推進など、日常生活を地域で支えていく体制づくりを一層進めていく。



議会 2月定例会開催

令和8年2月19日・20日に開催された2月定例会では、報告案件4件、条例案件1件、予算案件8件の計13件の議案が提出され、すべて承認・可決されました。

専決処分の報告について

- ▼一般会計（第3号）
 - ▼介護老人保健施設事業特別会計（第3号）
 - ▼介護保険事業特別会計（第3号）
 - ▼老人福祉施設等事業特別会計（第3号）
- いずれも令和7年人事院勧告に伴う人件費補正

条例制定・改定について

次の条例の一部を改定しました。
▼北アルプス広域連合火災予防条例の一部を改正する条例制定について

令和7年度補正予算について

- ▼一般会計（第4号）
 - ▼介護老人保健施設事業特別会計（第4号）
 - ▼介護保険事業特別会計（第4号）
 - ▼老人福祉施設等事業特別会計（第4号）
- いずれも事業の実績見込みに基づく補正

大和 幸久議員（大田市）

【虹の家について】

閉鎖方針撤回を求める。

問

現時点では、第9期介護保険事業計画期間内において、虹の家の運営については廃止を含め終期を定める方針に変更はなく、その上で、あらゆる可能性を排除せず、引き続き民間法人への移管を含め、検討協議を慎重に進めていく。

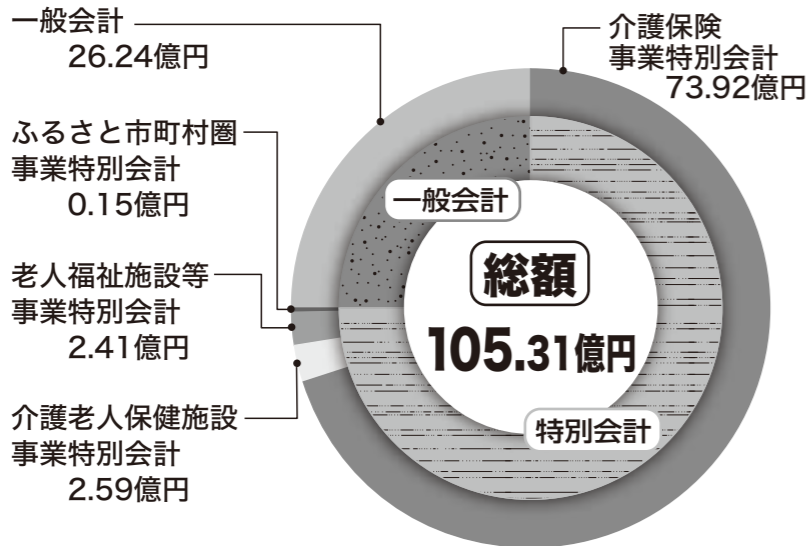
これまで、市立大町総合病院との連携により、採算性や地域ニーズを踏まえた、他の事業転換への可能性等についても検討・協議を進めてきたが、残念ながら有効な方策を見いだすことが叶わなかった。

また、介護報酬の増額確保策については、介護老人保健施設に係る算定要件に基づき、入所者の入退所前後の訪問指導や、喀痰吸引等の処置を強化することにより、収益の改善につながる加算型から強化型への移行を検討したものの、冬期間は入退所の変動が少ないことから在宅復帰率の基準を達成できないなど、年間を通じた算定が困難であり、これによる、黒字化を実現することは現実的に難しいと判断した。

民間法人へのアンケート調査で関心を示した複数の法人との間で、設備の改修や人材確保などの具体的な課題について、意見交換を進める中で、例えば今後、運営を引き継ぐ際の前提と

令和8年度当初予算について

一般会計と4つの特別会計の総額約105億3131万円の予算が可決されました。広域連合予算全体としては、大田市グリーンパーク第3期建設工事事業などにより、令和7年度予算と比較して、約3億2,988万円、3.2%の増となりました。



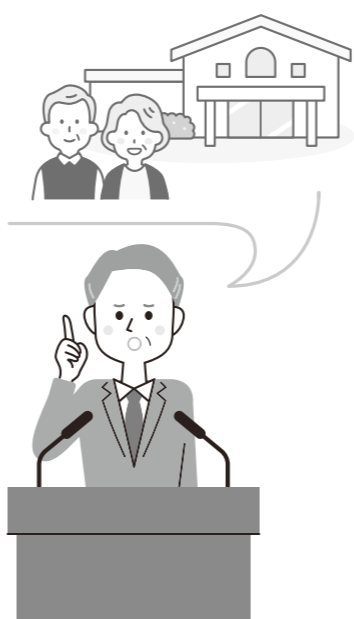
会計名称	当初予算額 (単位：万円)	前年度比	概要
一般会計	26億2,389万円	12.1%	消防・救急活動、大田市グリーンパーク第3期建設工事、一般廃棄物処理施設北アルプスエコパークの管理・運営、北アルプス広域葬祭場の管理・運営、土木事業に係る設計・積算の業務を行います。
介護保険事業特別会計	73億9,246万円	0.7%	介護サービスに対する給付など、介護保険の保険者として、介護保険事業の運営を行います。
介護老人保健施設事業特別会計	2億5,915万円	△3.6%	市立大町総合病院に併設する介護老人保健施設虹の家の運営を行います。
老人福祉施設等事業特別会計	2億4,065万円	3.1%	養護老人ホーム鹿島荘・グループホームひだまりの家の運営を行います。
ふるさと市町村圏事業特別会計	1,515万円	3.6%	ふるさと市町村圏基金を利活用し、市町村の地域振興イベントへの補助、広報紙の発行等を行います。

して、施設設備を補修するために、一定の修繕費等の負担を求められた場合、一時的な負担を市町村にお願いする検討の余地は残るものの、令和9年度以降、運営費を補てんするための市町村負担を継続することは、構成5市町村の財政面に鑑みると、極めて厳しいものと考えている。

また、本年5月に県内の109の社会福祉法人等を対象に運営意向調査を実施したところ、59法人から回答があった。そのうち、5法人から運営に関心があるとの回答があり、運営を引き継ぐ場合の課題として、設備の改修、人員の確保、引き継ぎに要する費用の3点が主な課題として挙げられた。

一方で、運営に関心がないとした法人からは、地理的な距離の問題のほか、人材確保の困難さ、物価高騰による運営コストの増加などを理由とする回答が多く見られた。

この調査結果を元に、運営継続の可能性について関心を示している複数の法人との間で引き続き、慎重に検討・協議を進めていく。





新しく配備された水槽付ポンプ自動車

平成15年の導入から、22年間にわたり運用してきた旧車両に代わり、令和7年12月より新車両の運用を開始しました。新車両は従来に比べ、軽量・小型化を図り、車両総重量を7.5トン未満に抑えることで、準中型免許での運転が可能となりました。一方で、積載水量は旧車両と同じ1500リットルを確保しており、これまでと変わらない放水能力を備えています。車両の小型化により、これまで進入が困難であった住宅密集地や山間部での活動が期待されます。また、バッテリー駆動の救助資機材を積載し、消火・救助活動において、より迅速かつ柔軟な対応が可能となりました。車体には再帰性に富んだ反射材を

1月14日、当施設では初となる「新年会」を開催しました。今回の企画は相談員が発案。「職員と利用者様が一体となって楽しめる時間を」という思いが形になり、会場は終始、弾けるような笑顔と歓声に包まれました。幕開けのリハビリ職員によるゲームで会場が温まると、次は音楽のステージへ。診療長の北原英幸医師による心に響くピアノ演奏、そし



新年会を開催しました

《介護老人保健施設 虹の家》

て施設長（大町病院院長）の藤本圭作医師による熱気あふれるカラオケが披露され、普段の診察時とは違う先生方の姿に大きな拍手が沸き起こりました。続く職員演奏では、加山雄三さんや梅沢富美男さん、さらに「CUTIE ST REET」のものまねをした職員が登場し、会場は爆笑の渦に！また、利用者様によるカラオケ発表や職員による迫力の和太鼓演奏では、普段は物静かな利用者から熱烈なアンコールが飛び出すほどの盛り上がりを見せました。入所者様、デイケア利用者様とともに、心を通わせたあつという間の1時間。最高の笑顔で新しい1年をスタートすることができました。

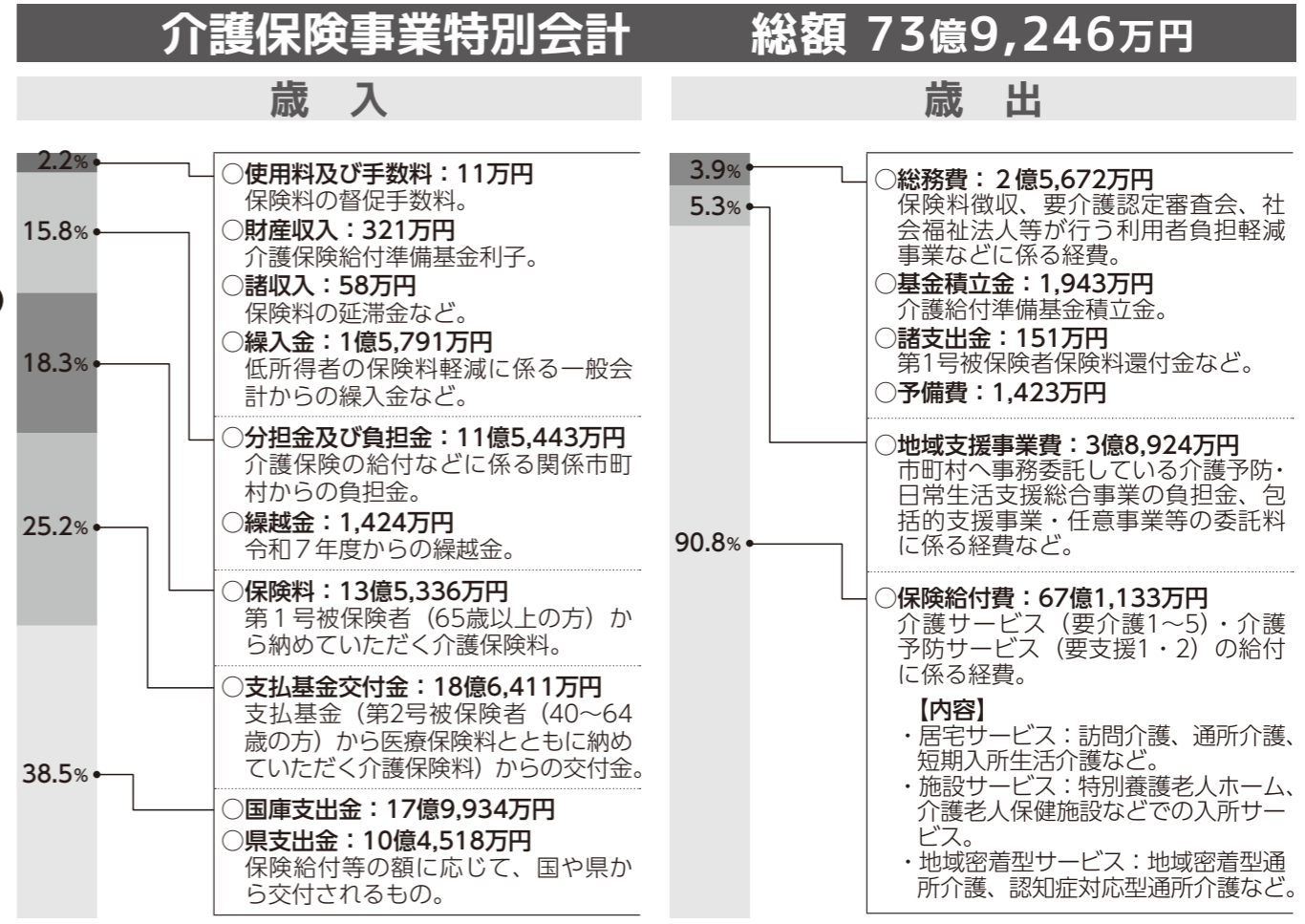
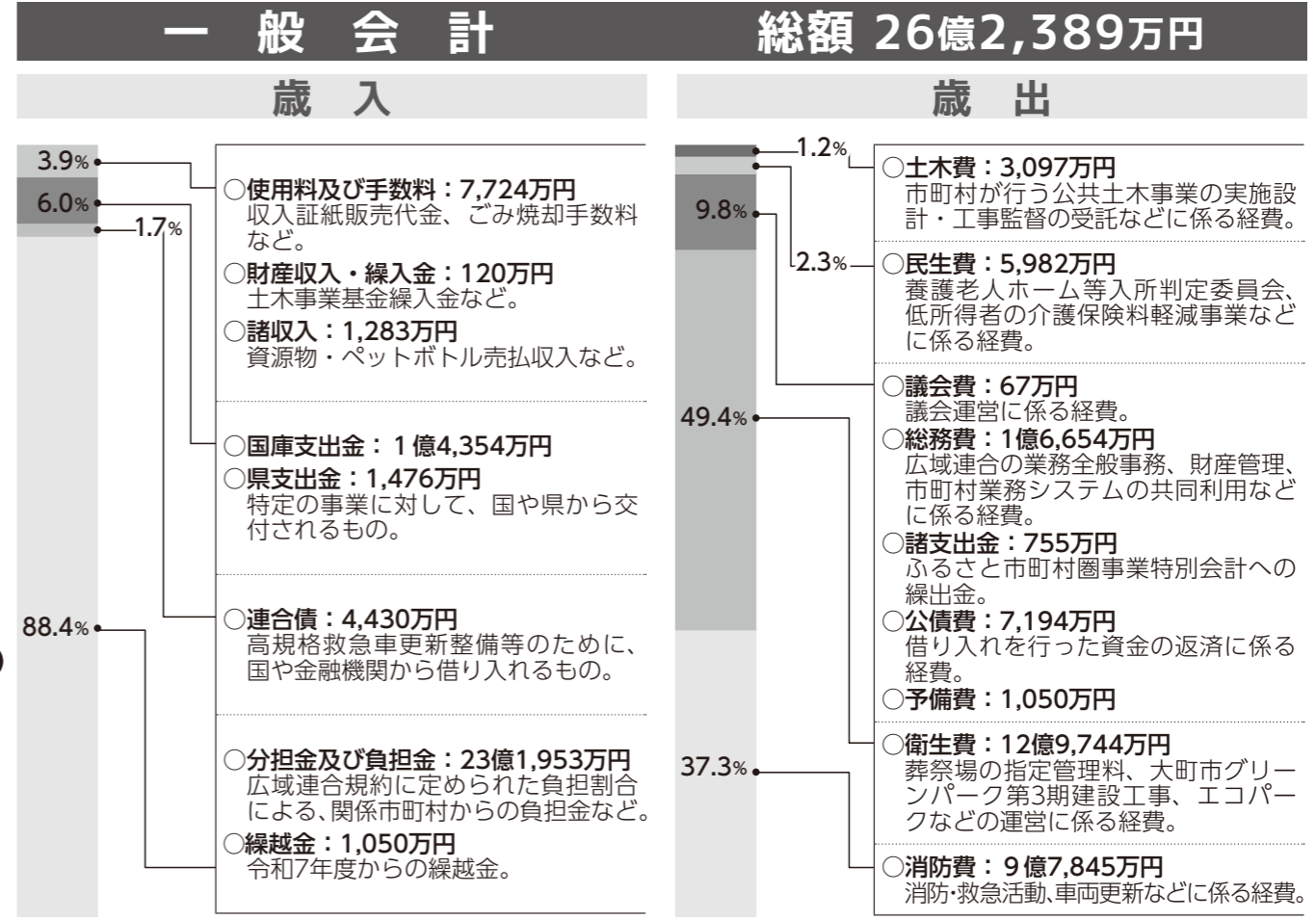
福祉施設 広域連合施設だより

貼付付けし、昼夜を問わず高い視認性を確保することで、安全な消防活動に寄与する仕様となっております。地域住民の皆様への安心・安全を守るため、今後も火災予防と災害対応力の向上に努めてまいります。

消防 広域消防からのお知らせ

南部消防署の水槽付ポンプ自動車を更新しました

平成15年の導入から、22年間にわたり運用してきた旧車両に代わり、令和7年12月より新車両の運用を開始しました。新車両は従来に比べ、軽量・小型化を図り、車両総重量を7.5トン未満に抑えることで、準中型免許での運転が可能となりました。一方で、積載水量は旧車両と同じ1500リットルを確保しており、これまでと変わらない放水能力を備えています。車両の小型化により、これまで進入が困難であった住宅密集地や山間部での活動が期待されます。また、バッテリー駆動の救助資機材を積載し、消火・救助活動において、より迅速かつ柔軟な対応が可能となりました。車体には再帰性に富んだ反射材を



※各予算額の四捨五入の関係から、歳入歳出の合計は総額と一致しません。

北アルプスエリア Green Season EVENT CALENDAR

詳しくは、各市町村または各市町村の観光協会・観光局・観光連盟等へお問い合わせください。 《市外局番 0261》

4月	4月15日(水)	立山黒部アルペンルートオープン 大町市プロモーション委員会 ☎ 23-4081	立山黒部アルペンルートの長野県側の玄関口である扇沢駅にてオープニングセレモニー開催。
5月	5月3日(日・祝)	第47回塩の道祭り 小谷村観光連盟 ☎ 82-2233	毎年5月3日に開催される春の一大イベント。建築物や石仏など歴史を感じるものが多く残る千国越えコースを楽しめます。
	5月4日(月・祝)	第47回塩の道祭り 白馬村観光局 ☎ 85-4210	歴史ある古道「千国街道・塩の道」と春の白馬のスポットを歩きます。 約10kmの道中では、春の花々や残雪の残る北アルプスの絶景を眺めながら歴史を感じられるお寺などを巡ります。残雪の山々と春の花々が美しい白馬村をお楽しみください。
	5月5日(火・祝)	塩の道湖畔ウォークとフォトコンテスト 大町市観光協会 ☎ 22-0190	大町市の塩の道周辺を楽しむウォーキングイベントを開催。イベント参加者限定のフォトコンテストも同時開催。
	5月16日(土)～ 5月24日(日)	HAKUBA ヤッホーFES2026 HAKUBA ヤッホー FESTIVAL 実行委員会 ☎ 72-2474	新緑と残雪の北アルプスを見渡せる白馬岩岳山頂のロケーションで、第6回目の絶景音楽フェスが開催！ワークショップ、地産マルシェ、アクティビティなどのコンテンツも楽しめる！本年より新たに『ヒトトキノモリステージ』も誕生!!標高1,289mの“絶景空間”での音楽フェス！
	5月30日(土)	第16回北アルプス呑み歩き 北アルプス呑み歩き実行委員会 ☎ 22-0190	参加証となる「きき猪口」を手に、JR信濃大町駅から徒歩圏内にある三つの地酒蔵と北アルプスブルワリーを巡る。
6月	6月7日(日)	第69回針ノ木岳慎太郎祭(夏山開き) 大町市観光協会 ☎ 22-0190	近代登山の先駆者として語り継がれる百瀬慎太郎の業績を讃え、夏山の開山祭として祭典、記念登山や植物観察を行う。
	6月上旬	梅池自然園開園祭 おたり振興公社 ☎ 82-3053	梅池自然園は、標高1900mに位置する高山植物が見られる国内屈指の高層湿原です。梅池自然園の開園に合わせて催しが行われます。
	6月13日(土)	木崎湖湖水開き地引網と水上トレッキング 大町市観光協会 ☎ 22-0190	新緑の中、地引き網にチャレンジし、湖畔をゆっくり歩いた後はモーターボートで爽快に湖上散歩。
7月	7月25日(土)	トットちゃんの夏祭り 安曇野ちひろ公園 ☎ 85-8822	黒柳徹子・著「窓ぎわのトットちゃん」にちなんだ夏祭りを開催。昔ながらの遊びやステージイベント、マルシェなどを開催予定。
	7月25日(土) 7月26日(日)	第28回白馬スノーハープクロスカントリー大会 白馬スノーハープクロスカントリー大会実行委員会 ☎ 72-8770	長野冬季オリンピックの競技会場を使ったアップダウンの多いコースで、1日目駅伝競技、2日目個人競技を行います。
8月	8月1日(土)	松川ふるさと祭り 松川ふるさと祭り実行委員会 ☎ 62-3109	ふるさとを愛し、より良い郷土づくりを目指す松川村最大のイベント。ステージイベントや模擬店、正調安曇節など開催予定。
	8月1日(土)	第48回大町やまびこまつり 大町やまびこまつり実行委員会 ☎ 22-0420 (内線543)	市民が「連」をつくり「やまびこ音頭」と「やまびこサンバ」に合せて踊る。歩行者天国となり、様々なイベントも開催されます。
	8月13日(木)	池田町松川村合同 高瀬川納涼大花火大会 池田町商工会 ☎ 62-5085 松川村役場経済課 ☎ 62-3109	池田町と松川村が合同で開催する花火大会。尺玉やスターマインなどの花火が夏の夜空に打ち上がります。
9月	9月13日(日)	白馬国際クラシック 白馬国際クラシック実行委員会 ホームページを参照	スキヤーの聖地として国内外から数多くのスキヤーが集う白馬村。国の天然記念物の高山植物や貴重な動植物が多く生息している自然の宝庫白馬村の絶景の中を走る「白馬国際クラシック」。レース後は疲れを癒してくれる温泉も数多くあります。
	9月下旬	梅池自然園紅葉ウィーク 小谷村観光連盟 ☎ 82-2233	標高1900mにある梅池自然園では、例年9月中旬ごろから草紅葉が始まり、10月に入ると紅葉が見ごろを迎えます。紅葉の見ごろにあわせてイベントを開催します。
10月	10月～11月	おたり新そば祭り 小谷村観光連盟 ☎ 82-2233	村内数店舗で新そば粉使用のお料理をご提供。お食事をして貰えるスタンプを集めて応募すると、抽選で豪華景品が当たります。
11月	11月1日(日)	信州いけだまちワイン祭り2026 ワイン祭り実行委員会 ☎ 62-3127	北アルプスを望みながらワインを楽しむイベント
	11月3日(火・祝)	第11回OMACHIロゲイニング 大町市観光協会 ☎ 22-0190	起伏の激しい山道から、古き良き町並み、雄大な北アルプス、秋の田園風景など、大町市の魅力を存分に楽しめるロゲイニング大会。

イベントが急遽変更、中止となる場合があります。
開催の可否等、事前にイベント主催者へお問い合わせをしてからご参加ください。